

不適合情報

2024年2月21日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 1件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	原子炉安全の観点から見たグレード
1	その他	アクセスルートに関する設計管理において、チェックシートにアクセスルートに対する影響評価についての明確な記載がないことを確認した。チェックシートにアクセスルートにかかわる項目を追記。	2024/02/08	—

3. G III グレード 1件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	その他	屋外用ダストモニタ(No. 2)の定期点検において、ポンプ(A)の流量が通常より低いことを確認した。調査の結果、空気を押し出すポンプブレードの固着による動作不良と推定。当該事象の対策を検討し修理。なお、ポンプ(B)に異常はなく、測定に影響なし。	2024/02/16	

2024年5月16日再審議によりグレード変更(G III→G II) (2024年5月17日再掲載)